科 目 コード		51910 授業 科目		島嶼保健看護特論 I Island Health Nursing Theory I		担当教員	○大湾明 神里み			
開講年	次	博士前期 1年次前		単位数	2 単位	科目	専門科目	特論	授業	講義
選択必	修	選択(分野	爭必修)	時間数	3 0 時間	分類			形態	
授業概望	更	島嶼で暮らす人々の生活を、地理的、文化的な広い視野から理解し、島嶼における健康問題の解決や健康生活上の課題を解決するために、重要な概念としてプライマリー・ヘルス・ケアとチームアプローチ(協働と連携) について学ぶ。								
		自.岫。	、キ##13	ーセルスコミュ	ーテッアわフィ	いたが理り	一般 一件 民の健	専問題のは	甲根レスの	の韶油卡注む

島嶼・へき地におけるコミュニティアセスメントを理解し、住民の健康問題の把握とその解決方法を

到達目標

- 地域保健看護の視点から述べることができる 1. 島嶼の持つ地理的・歴史的な特徴が人々の健康問題に影響していることを説明できる。
- 2. 島嶼保健看護の現状と課題について説明できる。
- 3. 沖縄県の離島・へき地における保健看護の特徴を理解できる。
- 4. 島嶼保健看護の重要な概念を理解でき説明できる。

	4. 岡州林に有限が重文は拠心と左所(と地方)とです。		
回 数	授 業 内 容 及 び 計 画	担当者名	日時
第 1 回	1. 島嶼保健看護の導入		
大湾	島嶼の定義、島嶼の看護職者に求められる能力		
第 2~4 回	2. 文献に学ぶ国内外の島嶼保健看護の現状と課題	大湾明美	
神里	国外の場合		
大湾	国内の場合	川崎道子	
大湾	沖縄の場合	FI III M 1910	
第5回	3. 我が国と沖縄県の離島・へき地における医療の現状	神里みどり	
川崎 第 6~7 回	 4. 沖縄県の離島・へき地における保健看護の特徴		
川崎	離島の実践例とディスカッション		
第 8回	5.プライマリー・ヘルス・ケアとは		
大湾	0.5 7 1 17 7.7 7 216		
第 9回	6. プライマリー・ヘルス・ケア (国際看護の視点から)		
大湾			
第 10回	7. プライマリー・ヘルス・ケアの実践例とディスカッション		
大湾			
第 11回	8. チームアプローチと協働連携		
大湾			
第 12回	9.協働連携の実践例とディスカッション		
大湾 第 13回	 10. 島嶼保健看護と文化的視座		
大湾	10. 西央休促有晚年入日的优生		
	 11. 離島・へき地の地域保健看護活動の特徴(まとめ)		
大湾			
第 15回	12. 学生の学びの報告と討議		
大・神・川			
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。		
参考文献	随時、参考資料を配布する。		
成績評価 の方法	授業への参加姿勢・ディスカッション・レポートにより評価	iする。	
備考	授業計画が変更することがある。 非常勤講師の日程は変更する場合がある。		

科 目 コード	51920	授業 科目	Island	島嶼保 Health N	健看護演 ² ursing Se		担当教員	〇川崎道子 大川嶺子		<i>i</i> b
開講年次	博士前期		単位数	2 単位	科目	専門科目・	演習	授業形態	演習	
選択必修	選択(分!	野必修)	時間数	60時間	/J X R			112.65		
授業概要	文献抄	流・事	おける健康 例検討・計 る能力を養	付論等によ	題抽出とかり学習を	解決方法を具体 進め、これらの	的に学り の方法を	ぶ。 : 島嶼保健看	護の実践	長と孝
到達目標	 健康課 コミュ 特定のを用い 	題の解注 ニティン 地域の例 て議論	央方法を、 アセスメン 建康問題の 計る。	その島嶼のトの技法を課題解決し	の地理的 を と支援技法 こ向け、他	課題を抽出で 文化的特徴を 法を説明できる。 也の島嶼の文献 法を説明できる。	ふまえて 。 検討、事			り方法
講義回数		ł	受 業 内	容及	び計	画	担	3当者名	日	時
第1回	–	の島嶼の)選定 関する文献	献収集方法	の検討			川崎道子 『里みどり		
第2・3回	特定の島崎	輿におけ	る地理的	歴史的・	文化的背	景				
第 4~6 同		レコミュ	ニティア・	セスメント	ツールと	アセスメントカ		川嶺子		
д у 1 — 0 — 1	人口動	態、領域	毎の量的ラ	データ・質	で的データ			大内忍		
第 7~16 回	特定の島崎	奥のコミ	ュニティン	アセスメン	/ト及び報	告				
第 17・18 回		支援、集	団支援							
第 19・20 回	特定の島崎	興での保	·健看護活動	動の事例検	討					
第21~26回	島嶼に温去の	の文献か	集問題と触いる多様な。 いち多様な。 り共通点・相	島嶼での健		その解決方法を を理する。	Ē			
第 27・28 回	島嶼におり	ナる健康	問題・保修	建看護の課	関と解決	方法の整理				
			保健看護の 文献の収算		理・検討					
•	特定の島((案)の報			題とその触	解決方法に	こ向けて実習計	画書			
テキスト	関連資料	料、文献	などを適宜	主配付する	00		•			
参考文献	随時、	 文献・資	料を配布で	する。						
成績評価	授業に	臨む準備	f状況、学習	習への参加	姿勢、プ	レゼンテーショ	1ン、レ	ポート等に。	より評価	する

各回の授業の担当者と実施日時については、開講時に提示する。

備考

科 目 コード	51925	授業科目	島嶼保健看護実習 Island Health Nursing Practicum 教							川嶺子 神里みどり
開講年次		期課程 欠後期	単位数	4単位	科目	専門	科目・実	習	授業	実習
選択必修	選択(分	野必修)	時間数	180時間	分類				形態	
				の保健看護の						

授業概要 実践し、島嶼における課題解決の方法を学習する。また、他の島嶼での課題を抽出し、その解 決方法を提示できる。

- 1. 立案した計画に基づいて、多職種協働のもとで支援活動を実践できる。
- 2. 実践した支援活動を評価できる。
- 到達目標
- 3. 島嶼における生活者の健康問題をアセスメントし、課題を明確化できる。
- 4. 特定の課題に対して、実施計画を作成できる。
- 5. 実習を踏まえて、課題研究につなげることができる。

	3. 美音を暗まんで、迷題研究につなけることができる。
回数	授 業 内 容 及 び 計 画 担当者名
実習開始前	〈 オリエンテーション・実習準備 〉 牧内 忍 4週間の実習計画書を作成する。 実習の目的、内容、日程、実習機関、実習記録様式等 実習計画に基づいて、実習機関との日程調整等を行う。 大川嶺子 川崎道子
実習期間中	〈 実習の展開 〉 実習地域は、自己の勤務地とその他の島嶼とする。 各実習機関の指導者や実習担当教員の指導の下で行う。 週の最終日には、実習機関の指導者と担当教員の参加を得て、実習 内容と達成成果についてカンファレンスを行う。
実習終了時	〈 実習報告会の開催 〉 実習により学んだ事項や考察について、実習関係者・担当教員等を 対象に行う。
実習終了後	〈 実習報告書の提出(実習内容、記録、課題レポートを含む)〉
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。
参考文献	必要時、文献・資料を紹介する。
成績評価 の方法	実習に臨む準備状況、自主的な実習実施状況、カンファレンスや報告会でのプレゼン テーション、実習報告書等により評価する。
備考	実習地区・機関・日程については、早めに調整を行う。 実習中は、Eメールや電話等で担当教員と綿密に連絡を取る。

	T							◎大湾	田羊	
科目		授業	島	嶼保健看護	特別研究	I	担当	◎神里		
14 ロ	51931	科目	Is	sland Healtl	n Nursin	ng	型 当 教員	◎川崎:		
- '		14 14		Special S	tudy I		秋 貝	牧内忍	Œ 1	
日日三柱 左、小	博士前期課	具程	534 1-1 #t-	0 光片	44 🗆		1		140 44	
開講年次	1~2 年次		単位数	8 単位	科目 · 分類	専門科	目・特別	別研究	授業形態	演習
選択必修	選択(分野必	,	時間数	240 時間						
140 44 100 ax	島嶼保健看護領									
授業概要	選択し、データ ら学問をする態								-	道程プム
	1. 研究プロセ							トこで子	目りる。	
	2. データ収集						-	きる。		
到達目標	3. 論理的思考:									
	4. 研究する者	として必	の要な倫理的	的態度を身に	こつける。					
回 数		1	受業内	容 及	び計	画			担当	者名
1年次	4月 入学時ガ				オリエン	テーション	/			
				出・決定 *					大湾明	
	履修指:	導、 履修	[届の提出	*					神里み	
	思心な	ステーマ	・国知の女詞	獣探索と検診	+				川崎道 牧内 活	
				歌珠系と彼ら 究計画書作成	•				1271 7	ン
	19171		16111 1912		~					
	毎月 研究計画	検討会・	· · 研究	計画書の検討	† *					
	研究倫理	審査申請	† *							
	研究フ	ィールト	の依頼と	決定						
	データ	収集・分	析							
2 年次	10月(4月) 福	血龙红目	[½ 카스 .	孤宏绘用	の松計	¥				
2 午扒	10月(4月) 1		ででいる。 副査の決定		マリクイ央で	^				
			論文作成							
	12月 (6月) 1			・学位審査申	請書の扱	是出 *				
	1月 (7月)	中間発表	会 *							
	1	修士論文	最終稿(の提出 *						
		34 I 	- B //- \ \	F A						
	2月(8月)			-						
	3月(9月)		:び修了判別 :全 *	Œ						
	1 , , , , , , ,		· 云 · · 、 保存版 ·	の提出 *						
		./ — HIII /	- ki+li///	1/CPH :						
	※()内は、	前学期份	修了者の日	程						
テキスト	関連資料、文献	tなどをi	適宜配付す	-る。						
参考文献	必要に応じ、文	で献・参	 考資料を提							
成績評価	審査委員会によ	- 10 診女	幸本む ト ァ ル	(是級計驗 /	口皕せた	け筝ダア	トス)ェ			
の方法									2.9 —	夕上却
備考	注)*印のつい			には提出期	吸か正め	られるもの	いである)。 した	いつて、	合目
備考	示には十分注意 担当教員欄の©		-	それ[] 外は	研究指道	(補助粉昌)	を示す			
		ノ (ヘ P) [ノレ]	ロイグタ、	これいとハノドリム	ップロローチ	一川が秋月	ニタックの			

科 目 コード	授業 島嶼保健看護課題研究 Island Health Nursing Problem Study				担当教員	○大湾県○神里○川崎切内 忍	みどり <u>首子</u>			
開講年次	博士前期課程 1~2 年次		単位数	8 単位	科目	専門科	専門科目・課題研究		授業	演習
選択必修	選択(分野必	(修)	時間数	240 時間	分類				形態	
授業概要	島嶼保健看護領域に関連した現場の中で自ら選択する課題に焦点をあて、課題に関する最新の知識を収集し理解した上で、問題解決の方法と技法を考究し、実践の結果を分析、考察して報告書を作成する。									
到達目標	1. 研究指導教員 2. データ収集・ 3. 論理的思考が 4. 実践家として	分析、 ぶでき、 ご必要な	文章表現方 分析力を習 倫理的態度	法など基本 得できる。 を身につけ	的技法や る。				値できる 。	5

	4. 夫践家として必要な価度的態度を身につける。 5. 専門職種として生涯学習する態度を身につける。	
回数	授業内容及び計画	担当者名
2 年次	4月 入学時ガイダンス: 研究指導に関するオリエンテーション研究指導教員希望届の提出・決定*履修指導、履修届の提出* 関心あるテーマ周辺の文献探索と検討研究テーマの明確化・研究計画書作成 毎月 研究計画検討会・・研究計画書の検討*研究倫理審査申請*研究フィールドの依頼と決定データ収集・分析 10月(4月)研究結果検討会・・研究結果の検討*主査・副査の決定考察・論文作成 12月(6月)課題研究第1稿・学位審査申請書の提出* 1月(7月)中間発表会*課題研究最終稿の提出* 2月(8月)課題研究審査・最終試験*合否および修了判定 3月(9月)公開発表会*課題研究保存版の提出* ※(()内は、前学期修了者の日程	大神川 牧内 窓 ジャー・
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。	·
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示する。	
成績評価 の方法	審査委員会により総合科目試験(口頭および筆答)、課題研究報告書の審査および頭または筆答)を行う。	『最終試験(口
備考	注)*印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したが示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。	って、各自掲